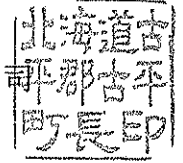




古 総 企 号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

古平町長 本 間 順



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり回答します。

(担当：総務課 企画調整係)

重点化を進める上で特に優先度の高い政策

古平町が考える優先度の高い政策は、平成8年2月に発生した豊浜トンネル崩落事故や高齢化率の上昇を踏まえ、「防災・減災」「交通安全」「安全・安心な冬期交通」です。

特に古平町の生活圏を結ぶ国道229号へは、次の点を重点的に進めるべきであると考えます。

- ①道路の確実性の強化（耐震補強の推進等）
- ②災害情報の更なる充実提供
- ③夏場の交通死亡事故解消対策
- ④冬期間も医療圏へ安全に移動できる除雪体制
- ⑤高齢者が利用しやすい道路空間の建設

また、医療を含む生活一般での地域格差を解消するため、北海道横断自動車道（高規格幹線道路）は、地方の発展のためにも優先度の高い事業であると考えます。

効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

効率化を進める上で重視すべきことは次の点であると考えます。

- ①沿道の住民等が、事業の開始前にその必要性について真剣に考える場を設け、そこで出された意見等。
- ②事業評価において、行政側だけでなく民間人も含めた評価する仕組みを構築し、そこで出された意見等。
- ③入札契約の適正化など事業の透明性を確保する必要もある。

その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

特になし